

ラヂオポトフ

2023「スープ」

2023年12月24日

【川柳連作】

スープ

踊り／モーメント

小さいミニロト

税理士鳥原の眼「スープで言えば」

スープ小説「にじんだページ」

インタビュー

スープ
高澤聡美

マンキンで五徳に座るあずき色
はげ山で炊飯器だけたのしそう
味ぽんがさようならって言ったから
よく混ぜてくださいと問う木偶の棒
わたしフルフルしてるオレガノみてる
どびん蒸し待てど暮らせどがらんどろ
ネギからの遺言状に背く蓋

入れてない野菜の味がするスープ

永遠に飲めない世には用事ない

おなじ湯に浸かるのどんなきもちなの

プ、プ、プと聞こえる遠い冬空に

さいごまでみていてとろみつけるから

あなたから貰ったスーを温める

ユッケジャンスープで献杯するような

スープ
鳥原弓里江

スープ
今田健太郎

今夜またプレパレートにひとしずく
O・ヘンリだったスープのうつわたち
うつくしいひとに気づかれない湖面
オリオンとスープを吸った文庫本
新橋のうまいスープを出す屋さん
こいびとはスープのふちでまちあわせ
残像のスープ 気づけば富士樹海

おやすみとカイモノラボのモーメント

王国に照準あわせて飲む下剤

川底でしのばれるのはミシン台

墓前でも君を信用してないよ

春巻きと生春巻きの小競り合い

逃げ出して脳みそそこに置いといて

風呂までのスピード勝負フェアプレイ

モーメント
高澤聡美

所得税は味噌汁である。味噌汁には、豆腐とワカメの味噌汁、大根の味噌汁、なめこの味噌汁、トマトの味噌汁なんてものもあり、さまざま。所得税も同様に、給与所得や不動産所得、年金などの雑所得など、十種類の所得があり、それぞれ計算方法が定められている。

相続税はポトフだ。相続税の申告は遺産分割が円滑にくかどうか重要である。じゃがいもや人参、ソーセージなど、大きい具がゴロゴロ入っているポトフ。何人かで分けて食べる場合、人数分の具が入っていればいいが、そうでないときは。話し合いで解決するといいいのだが。

消費税はなんだろう。私たちがコンビニなどで買い物をしたとき、レシートには消費税が載っている。しかし、お金を受け取ったお店側がその消費税を納付しているかどうかは別の話になる。売上の少ないお店であれば納税は免除されるし、納税する場合も、受け取った消費税から支払った消費税を引いて納税することになる（その支払った消費税の計算方法はいくつかある）。私たちにとって身近な税金であるがゆえシンプルそうに思えるが、実は非常に複雑な仕組みになっている。それが消費税だ。

消費税は具のないコンソメスープとしよう。シンプルなようでいて奥深い、複雑な風味。わたしはその複雑さに辟易している。

税理士鳥原の眼「スープで言えば」
鳥原弓里江

「小さいミニロト」 今田健太郎 ◆ミニロトとカルポナーラがまだ来ない／千年紀 ミニロト末に降る雪は／目を閉じてミニロトとして会議中／折り畳み式ミニロトを折り畳む／院生はミニロトだから構わない／四時半にミニロト遊ぶ 輻／ミニロトか、あるいはロングコートダディ

みて 鋭角のえがお頂戴 すぐに

きんのがくぶちのなかきんのいえのえ

ドルガバのスケスケの服着たい欲

蹲ってマスカット転がす舌

山からおりてくる白いフライパン

どうなるの 笑顔 右足 こっちきて

演題で花はゆっくりおじぎする

踊り
高澤聡美

Aにとっては通い慣れた、Bにとっては暇つぶしにたまたま立ち寄っただけの図書館だった。ちょうどAは、フランスの古い恋愛小説を読みながら、愛用の薄い金属製のしおりを指先で弄んでいるところだった。

「きれいですね」

「え？ ああ、しおり」

「いや、指」

やがて、AはBにスープを作るようになった。Bが好きだと言った、ベーコンとブロッコリーのスープ。

「おいしい」

そう言ってBは微笑んだ。Aは、かつてその光景にしおりを挟んだことがあるような気がした。Bの微笑みを、それを包むあたたかな陽光を、本で読んだことがあるような気がした。けれど、それがいつのことだったか、Aには思い出せない。

あのしおりも、長いあいだ見ていない。

物語の終わりが、Aに予見できるはずなかった。Aにとって物語とは、いつも、残り少なくなっていくページを、削られていく時間の厚みを、指先でたしかめつつ進めるものだった。

ひとりきりの部屋で、Aは、あの恋愛小説を開いた。

部屋じゅうに、まだスープの香りが漂っている気がした。途中、電話がかかってきたので、読みかけのページにペーコンを挟んで、出た。

スープ小説「にじんだページ」
今田健太郎

インタビュー

構成：鮭ヶ原ジュン

● ネットプリント第3弾、発行おめでとうございます

今田…ありがとうございます（と言って、スマホで電話を始める）

高澤…ありがとうございます（と言って、スマホで電話を始める）

鳥原…ありがとうございます（と言って、かまぼこ板を耳にあてて電話を始める）

● みなさん、お忙しいようですね

鳥原…引っこかりましたね。わたしは忙しくありません

● これはやられた。いったいどんなトリックが？

高澤…この秘密は墓場まで持っていきますよ。わたしが

● なぜ高澤さんが。謎は深まるばかりです

鳥原…そんなことより、どこまで話しましたっけ。たしか、わたしが象牙の密猟で実刑を食らってブタ箱に入れられてたとき、今田さんが、暮田真名さんの本『宇宙人のためのせんりゅう入門』を差し入れてくれたってあたり？ まあ、わたしの場合、あれが現代川柳との出会いでしたね

● その本が出たのは、ついこのあいだ（二〇二三年十二月）ですよ

鳥原…急遽仮出所が決まったので。だからネプリにも参加できたって寸法です

● なるほど。そんな今回のネプリ第3弾、テーマは「スープ」です。これを決めたのは今田さんと伺いました

今田…そうですね。まあ、いまのぼくのライフワークは、ネットプリントのテーマを決めることと、出所してきた元受刑者を孤立させないための仕組みづくりですからね。しかも後者のほうは嘘ですし

● 嘘とはいえ、なかなかできることではないです。この社会貢献っぷり、ひょっとして、出馬とか考えてたり？

今田…ええもちろん。ことしの有馬記念にね

鳥原…アハハハ！ 最高！ よっ、社長！

● （無視して）高澤さんは自他ともに認めるメシ食らいですが、今回のテーマはいかがでしたか？

高澤…スープはおいしいけど、やっぱり液体がちなのが不満ですね。具材も自由に選べるならいいんですが。あ、そうそう、選ぶと言えば、今回のネプリの発行を記念して、ラジオポトフ主催の句会「スープ句会」をやっています。わたしと今田さんで選者をやります。投句は十二月二十五日（月）まで受け付けてますので、みなさんぜひどうぞ。

● 楽しみです。ちなみにこれは、入選するとなにかもらえたりは？

今田…あまり大きな声では言えないんですが、最近、質のいい象牙が手に入るルートが開拓できたところなので、そっち系のなにかを、とは思ってます

鳥原…密猟をがんばるぞ！

● だめですよ密猟は。鳥原さんリアル税理士先生ですよ。今回のネプリの2枚目にも税関連の文章を寄せてますし

鳥原…まあ、軽い読み物でいいですけどね。これをきっかけに税金に興味をもってもらえとうれしいです

● 2枚目にはおなじみの今田さんの怪文書もあります。スープ小説？ なんですかこれは

今田…こっちのセリフですよ。まじでなんなんですかこれは。正直困ってますよ、自分の才能に

鳥原…アハハハ！ 最高！ よっ、CEO！

● （無視して）さて、次回第4弾のネプリはどんな展開が待っているんでしょうか

高澤…なんだろう、ゲスト呼んだりとか？

今田…なるほど。たしかに、なんか新機軸あってもいいかも。ちょっと考えるか。ん？ いまへんな臭いしたな

鳥原…なんか、部屋暑くないですか？

高澤…暖房切ります？

● きょうはお忙しい中、燃えさかる金閣寺でのインタビューにご協力いただき、ありがとうございました
3人…ありがとうございます！

【これまでのネプリのあゆみ】

第1弾	ラジオポトフ2022「茄子」
第2弾	ラジオポトフ2023「アニメ」
第3弾	ラジオポトフ2023「スープ」